

南方熊楠生誕150周年記念シンポジウム

南方熊楠と熊野の自然 伝説からエコロジストとしての実像へ

日時 2017年6月10日(SAT)
14:00~16:30

会場 大正大学 7号館1階 711号講堂

参加費 1,000円(一般) / 800円(学生) / 高校生以下無料

座席数 先着200名(要メール予約)

主催 大正大学地域構想研究所、BIOCITY、逞い文化を創る会

後援 和歌山県[予定]、田辺市、南方熊楠顕彰会

プログラム

1部 基調講演 岩槻邦男

「ナチュラルヒストリーの視点でみる南方熊楠」

2部 パネルディスカッション

「南方熊楠と世界遺産 熊野の自然」

17:00より懇親会を行います(参加自由、会費5,000円)

南

方熊楠が残した人文・自然科学の膨大な資料の多くは、熊楠が後半生を過ごした田辺市の南方熊楠顕彰館に、約25,000点の植物標本は国立科学博物館に収蔵されており、近年こうした資料をもとに、博物学・生態学・民俗・信仰など、多様な視点から熊楠のエコロジストとしての実像が明らかになっています。今回、生誕150周年を記念して、1部では国際的な植物学者の岩槻邦男博士が「ナチュラルヒストリー」の視点で熊楠の研究姿勢を見つめ、現代の科学に必要な「統合的な視点」に焦点をあてる講演を、2部では世界遺産 熊野古道の取り組みや熊楠研究の成果を交え、地域・自然・信仰の分野から「熊楠の思想を地域創造にいかにかしていか」を考えるディスカッションを開催します。

申し込み方法について

下記宛にメールにて「6月10日シンポジウム」と題し、お名前と連絡先を添えてお申し込みください。
懇親会にご出席される方はその旨お書き添えください。

BIOCITY編集部(株式会社ブックエンド)
E-mail: biocity@bookend.co.jp

基調講演



岩槻邦男

兵庫県立人と自然の博物館名誉館長、東京大学名誉教授。日本人の自然観にもとづく地球の持続性の確立に向けて積極的に発言している。1994年日本学士院エジンバラ公賞受賞。2007年文化功労者。2016年コスモス国際賞受賞。

パネリスト



真砂充敏

田辺市長・南方熊楠顕彰会長。中辺路町長時代に「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録に携わる。



西村幸夫

東京大学教授。日本イコモス国内委員会委員長、前世界遺産特別委員会委員長。専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画。



寺田喜朗

大正大学文学部人文学科教授。専門は宗教社会学。日本宗教の生命主義的な世界観に関心がある。屋久島出身。



田村義也

南方熊楠顕彰会学術部長、成城大学非常勤講師。専門は比較文学比較文化。南方熊楠邸資料調査と『南方熊楠邸蔵書目録』『同 資料目録』の編集に参加。



古田尚也(司会)

大正大学地域構想研究所教授。IUCN(国際自然保護連合)日本事務所の代表も兼務し、生物多様性に関する国内外の政策展開に従事する。



大正大学 アクセス: 都営地下鉄三田線「西巣鴨」駅より徒歩2分
JR埼京線「板橋」駅東口より徒歩10分
都電荒川線「庚申塚」または「新庚申塚」駅より徒歩7分